

【編集後記】

今回初めて編集責任者の任につかせていただきました。これまでは執筆側として関わってきましたが、改めて“電気製鋼”の過去の資料を見返してみますと、本報のように“耐食・耐熱材料特集”としてであったり、“自動車用部材”、“産業機械部材”のように用途を考慮した形であるにせよ、執筆内容として耐食・耐熱材料に関わるものが増えていると実感させられます。近年、環境、エネルギー関連に注目が集まるとともに、輸送機器の燃費改善、発電プラントの効率改善など、いずれも材料が曝される環境は過酷にならざるをえないものが多く、今後も耐食・耐熱材料の需要は高くなるものと思われまます。

さて、3年前に第83巻No.1“産業機械部材”にてNi基超合金に関する紹介を多数行ったこともあり、本報ではステンレス鋼とTi合金、TiAl合金、Co-Ni-W-Al合金に関する内容となっております。技術解説では、前九州大学の菊池正夫教授にステンレス鋼について、関西大学の池田勝彦教授にはチタン合金について、各分野における材料開発の特徴および動向に関する解説を頂きました。論文および技術資料では、汎用鋼の成分適正化の事例として析出硬化型ステンレス鋼を2件、開発材料として超高温域で利用可能なCo-Ni-W-Al合金、タービンホイールに適用されているTiAl合金、生体用Ti合金の3件。製品紹介では、当社開発材の大気圧高窒素マルテンサイト鋼DSR40N、航空機分野の製造認定を受けている高性能耐熱ベアリング用鋼M50NiL、排気系シーリング部材DSALOY718の3件。また、設備紹介として知多工場に導入しました炉体旋回式電気炉、および当社グループの大同精密工業(株)殿には、ターボ用途を想定した高温環境に曝される部品の表面処理設備として新規導入されました窒化処理炉を寄稿頂きました。

本報の内容は多岐にわたり、非常に盛りだくさんな特集となりました。材料技術、モノづくり技術の視点で読み解いていただき、本報が今後の皆様の発展に少しでもお役に立てたら幸いです。

最後になりますが、寄稿していただいた方々、論文の査読をしていただいた方々をはじめ、本報発行にご協力頂きました全ての皆様に心より感謝申し上げます。

以上
(編集責任者：高林宏之)

【前号の訂正】

第85巻No.2におきまして電気製鋼編集委員の名前に誤記がありました。下記の通り訂正します。

大橋八郎 → 大橋貢八郎

電気製鋼編集委員会

委員長	羽生田 智 紀							
委員	朝 生 和 光	東 真一郎	天 野 肇	岩 田 龍 司				
	入 山 恭 彦	大 橋 貢八郎	川 西 邦 仁	木 村 利 光				
	佐 野 弘 幸	志 村 進	長 島 友 孝	成 瀬 真 司				
	野 口 裕 明	秦 野 敦 臣	廣 谷 真 澄	松 淵 周 司				
	森 義 昭	吉 永 祐 孝						

電気製鋼／大同特殊鋼技報 第86巻 第1号（不許転載）

2015年8月17日 印刷

2015年8月24日 発行（年2回発行 非売品）

編集発行人 羽生田 智紀

発行所 大同特殊鋼株式会社 技術開発研究所

〒457-8545 名古屋市南区大同町2-30

<http://www.daido.co.jp/about/rd/index.html>

印刷所 株式会社大同ライフサービス

〒457-0819 名古屋市南区滝春町9

<http://www.daidolife.co.jp>

DENKI-SEIKO ELECTRIC FURNACE STEEL Vol.86 No.1 2015 All rights reserved.

Published by Corporate Research & Development Center, Daido Steel Co., Ltd.

Address : 2-30 Daido-cho, Minami-ku, Nagoya, Japan 457-8545

Tel. 81-52-611-9413 Fax. 81-52-611-9004

お問合せ先 大同特殊鋼株式会社 技術開発研究所内 電気製鋼編集委員会事務局

〒457-8545 名古屋市南区大同町2-30

Tel. 052(611) 9413（直） Fax. 052(611) 9004